

PCT

国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条)
[PCT36条及びPCT規則70]

REC'D 27 NOV 2003

WIPO

PCT

出願人又は代理人 の書類記号 A.313.24M	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/ IPEA/446)を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JPO3/07121	国際出願日 (日.月.年) 05.06.03	優先日 (日.月.年) 10.06.02
国際特許分類 (IPC) Int. Cl ⁷ A61K31/167, 31/18, 31/381, 31/40, 31/404, 31/4164, 31/421, 31/422, 31/426, 31/437, 31/4402, 31/445, 31/451, 31/455, 31/47, 31/505, 31/498, 31/5375, 31/609, 31/616, A61P35/00, 35/02, 35/04		
出願人 (氏名又は名称) 株式会社医薬分子設計研究所		

BEST AVAILABLE COPY

1. 国際予備審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第57条 (PCT36条) の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 5 ページからなる。
- ☐ この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。
(PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照)
この附属書類は、全部で ページである。

3. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- I ☒ 国際予備審査報告の基礎
- II ☐ 優先権
- III ☒ 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- IV ☐ 発明の単一性の欠如
- V ☒ PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- VI ☒ ある種の引用文献
- VII ☐ 国際出願の不備
- VIII ☐ 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日
05.06.03国際予備審査報告を作成した日
13.11.03名称及びあて先
日本国特許庁 (IPEA/JP)
郵便番号100-8915
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

4C 9450

伊藤 幸司

電話番号 03-3581-1101 3452

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (1998年7月)

BEST AVAILABLE COPY

I. 国際予備審査報告の基礎

1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に
 応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。
 PCT規則70.16, 70.17)

☒ 出願時の国際出願書類

- ☐ 明細書 第 _____ ページ、
 明細書 第 _____ ページ、
 明細書 第 _____ ページ、
 出願時に提出されたもの
 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
 付の書簡と共に提出されたもの
- ☐ 請求の範囲 第 _____ 項、
 請求の範囲 第 _____ 項、
 請求の範囲 第 _____ 項、
 請求の範囲 第 _____ 項、
 出願時に提出されたもの
 PCT19条の規定に基づき補正されたもの
 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
 付の書簡と共に提出されたもの
- ☐ 図面 第 _____ ページ/図、
 図面 第 _____ ページ/図、
 図面 第 _____ ページ/図、
 出願時に提出されたもの
 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
 付の書簡と共に提出されたもの
- ☐ 明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、
 明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、
 明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、
 出願時に提出されたもの
 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
 付の書簡と共に提出されたもの

2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願の言語である。

上記の書類は、下記の言語である _____ 語である。

- ☐ 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語
☐ PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語
☐ 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語

3. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。

- ☐ この国際出願に含まれる書面による配列表
☐ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表
☐ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった
☐ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記載した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

4. 補正により、下記の書類が削除された。

- ☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 図面の第 _____ ページ/図

5. ☐ この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1.における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)

BEST AVAILABLE COPY

1. 次に関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により審査しない。

- ☒ 請求の範囲 1-1.1の一部

☐ この国際出願又は請求の範囲は、国際予備審査をすることを要しない
次の事項を内容としている（具体的に記載すること）。

- 明細書、請求の範囲若しくは図面（次に示す部分）又は請求の範囲記載が、不明確であるため、見解を示すことができない（具体的に記載すること）。

請求の範囲1-11の発明の医薬組成物の有効成分は、極めて広範囲且つ多彩な化合物を包含し、その全てについて完全な調査を行うことは困難である。一方、PCT条約第6条の意味において明細書に裏付けられ、また、PCT条約第5条の意味において明細書に開示されているものは、請求の範囲1-11の発明の医薬組成物の有効成分の中のごく僅かな部分に過ぎない。

したがって、請求の範囲1-1-1及び明細書は、有意義な国際調査を行うことができる程度まで所定の要件を満たしていない。

そこで、先の国際調査報告では、請求の範囲1-11の発明については、明細書に具体的に記載された化合物に基づいて、合理的な負担の範囲内で、先行技術文献調査を行ったので、この調査の範囲で、国際予備審査を行うこととする。

- ☒ 全部の請求の範囲又は請求の範囲 1-11 が、明細書による十分な裏付けを欠くため、見解を示すことができない。

- ☒ 請求の範囲 1-11の一部 について、国際調査報告が作成されていない。

2. スクレオチド又はアミノ酸の配列表が実施細則の附属書C（塩基配列又はアミノ酸配列を含む明細書等の作成のためのガイドライン）に定める基準を満たしていないので、有効な国際予備審査をすることができない。

- ☐ 磁気ディスクによる配列表が提出されていない又は所定の基準を満たしていない

V. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	8, 9	有 無
	請求の範囲	1-7, 10, 11	
進歩性 (IS)	請求の範囲	.	有 無
	請求の範囲	1-11	
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1-11	有 無
	請求の範囲		

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1: WO 99/65449 A2 (SMITHKLINE BEECHAM CORPORATION)
1999.12.23

文献2: WO 99/55663 A1 (VERTEX PHARMACEUTICALS INCORPORATED)
1999.11.04

文献3: WO 01/98290 A2 (PHARMACIA & UPJOHN S.P.A.)
2001.12.27

<文献1より>

請求の範囲1-5及び7に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1より新規性及び進歩性を有しない。

文献1には、式Iで表される化合物(HO)(R)Ph-CONH-Ph(R₂)が癌の治療に有用であることが記載されている。

そして、同様に癌治療に有用な化合物を提供するために、式Iの化合物の置換基の一部を類似の範囲で変えてみることは当業者が容易になし得ることである。

<文献2より>

請求の範囲1-4、6及び7に係る発明は、国際調査報告で引用された文献2より新規性及び進歩性を有しない。また、請求の範囲8及び9に係る発明は、同文献2より進歩性を有しない。

文献2には、(ヒドロキシナフタレン環)-CONH-(CF₃等で置換されたPh)で表される化合物が、抗癌剤として有用であることが記載されている。

そして、同様に抗癌剤として有用な化合物を提供するために、置換基の一部を類似の範囲で変えてみることは当業者が容易になし得ることである。

<文献3より>

請求の範囲1-6、10及び11に係る発明は、国際調査報告で引用された文献3より新規性及び進歩性を有しない。

文献3には、(HO)Ph-CONH-(置換ヘテロアリール)で表される化合物が抗癌剤として有用であることが記載されている。

そして、同様に抗癌剤として有用な化合物を提供するために、置換基の一部を類似の範囲で変えてみることは当業者が容易になし得ることである。

BEST AVAILABLE COPY

VI. ある種の引用文献

1. ある種の公表された文書 (PCT規則70.10)

出願番号 特許番号	公知日 (日. 月. 年)	出願日 (日. 月. 年)	優先日 (有効な優先権の主張) (日. 月. 年)
WO 02/49632 A1 (株式会社医薬分子設計研究所) [E, X]	27.06.02	18.12.01	18.12.00
WO 02/076918 A1 (サントリー株式会社) [E, X]	03.10.02	27.03.02	27.03.01

2. 書面による開示以外の開示 (PCT規則70.9)

書面による開示以外の開示の種類	書面による開示以外の開示の日付 (日. 月. 年)	書面による開示以外の開示に言及している 書面の日付 (日. 月. 年)
-----------------	------------------------------	--

BEST AVAILABLE COPY